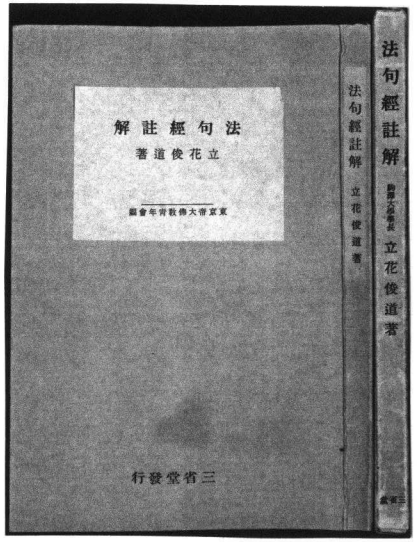
立花俊道（たちばなしゅんどう）　仏教学者。明治十年十月十七日佐賀県生れ、昭和二十年四月二日没（一八七七―一九五五）。明治三十六年曹洞宗大学林卒。インド、セイロン島に留学、更にオクスフォード大学に学位を得た。曹洞宗大教授、駒沢大学教授（のち学長）、早稲田高等学院教授等歴任。世界平和仏教会理事長、松岡寺住職を務めた。

著書に『法句経註解』（東京帝大仏教青年会編、昭和十五年十二月二十五日三省堂「青年仏教叢書」）等。